

平成30年6月20日

平成29年度の主な事業報告

社会福祉法人 陽だまりの会

※1年間の事業内容を具体的に記入してください。

社会福祉事業

事業所名：ハウス陽だまり

1. 事業実施日数 年間262日

2. 事業内容

昼食作り弁当作り、お菓子教室等「食」を通して、利用者が自立した日常生活や社会生活が営めるようにするとともに、就労に向けてのスキルを身につけられるよう、作業や各種プログラムへの自発的な参加を促すため声掛け重視の支援を行った。また、協調性を養うため様々な研修を企画し実施した。

自己決定を尊重し、各自の持っている力が発揮できる関係や環境づくりを重視した。

各利用者の個別支援計画を作成し、各自の目標・目的・特性・スキルの把握に努めた。振り返りを実施しながら、利用者の掲げる目標や目的に沿い、自己実現の達成が出来るよう必要な支援を行った。

欠席が続いている人や通所予定者が欠席した際には、適宜、電話連絡を行い、体調の確認を行うと共に抱えている課題やニーズを聞き相談支援を行った。また必要に応じて関係機関と連携を行ない医療に繋がった。

【作業について】

・就労スキルを養うため、障害特性に配慮した作業方法の提案、作業環境の配慮を行った。また様々な作業を通じて各自の役割や達成感、自信ややりがいにつながるよう適宜声掛けをしながら作業提供を行った。

・日々の声掛けを通じ、体調面の把握に努め生活リズムが整うよう支援した。

・利用者の選択肢を増やし、作業内容を充実させるため、職員の増員を行った。

横浜市総合保健医療センター売店の請負（施設外就労）

生活支援センターの清掃（施設外就労）

昼食作り/配食サービス（事業所等に昼食の提供）

内職作業（ボールペン組立・箱詰め、リボンカット、部品組み立て等）

地域のバザー参加/缶・ビン清掃等

【プログラム】

・様々なプログラムや研修を通して、日常の過ごし方や社会生活においてのマナーやルールの理解が出来るような情報や環境の提供を行った。

・音楽活動、音楽療法、草細工等のプログラムを通じ、自発性や協調性を養い役割や達成感等が得られるようプログラム提供を行った。

草細工製作/お菓子教室/カラオケ/グループミーティング

音楽療法/創作活動/その他研修等

【研修】

・平成29年7月12日：社会マナー研修

・平成29年9月11日：スポーツ研修

・平成29年12月6日：日帰りバス研修

・平成29年12月29日：施設外研修

・平成30年2月21日：施設外研修

【レクリエーション】

・平成29年4月5日：岸根公園花見レク

・平成29年8月16日：バイキング外食レク

・平成29年11月18日：浜家連フォーラム演奏会

・平成29年12月20日：クリスマス&忘年会

・平成30年3月8日：ふれあい・こんさ〜と演奏会

・平成30年3月17日：ハウス陽なた春の音楽祭

【バザー】

・平成29年4月16日：カーボン山 桜まつり

・平成29年5月14日：毘沙門祭

・平成29年10月8日：ワクワクまつり

・平成29年10月14日：総合保健医療センター文化祭

- ・平成29年10月14日：菊名ウォータープラザまつり
- ・平成29年11月11日：岸根公園感謝DAY

【避難・消防訓練】

①平成29年8月25日：避難訓練／ハウス陽だまり⇄菊名小学校
地震などの自然災害が発生した避難訓練を実施。

【目的】利用者及び職員の安全を確保するために必要な知識・行動を身につける。
避難場所、避難経路を確認すると共に誘導方法を学び災害発生時に速やかに行動が出来る様にする。

②平成29年10月10日：避難訓練／ハウス陽だまり⇄菊名小学校
地震などの災害が発生時、避難が必要となる場合の注意点を確認。

【目的】身の安全の守り方、予定の避難経路までの道が通れないことを想定した
避難経路の確認。

③平成30年2月15日：防災訓練／横浜市民防災センター
自然災害等についての体験及び情報収集

- 【目的】防災センターで様々な災害体験や避難方法などの説明を受け、万が一の災害時でも落ち着いた行動や対応が出来る様にする。
- ・職員間の情報共有やコミュニケーションを密に行うことで、職員の質を上げ、施設内の環境整備やサービスの質の向上を図り提供できるよう努めた。
 - ・社外研修・社内研修に積極的に参加し、社会人としての知識やマナー、チームとしての役割等を学び業務や支援に繋げた。
 - ・職員の増員に伴い、後輩育成に力を入れた。

週間プログラム	曜日	午 前	午 後
	(日)	(地域バザー参加、配食サービス)	(地域バザー参加、配食サービス)
	月	・朝のミーティング(体調報告)、 ・配食サービス、昼食作り、内職作業 ・生活支援センター清掃、売店	・革細工(月2回)、内職作業、 音楽療法、スポーツ活動(月1回) ・売店
	火	・朝のミーティング(体調報告)、 内職作業、売店 ・配食サービス、昼食作り	・厨房清掃、音楽活動 ・内職作業、売店
	水	・朝のミーティング(体調報告)、 室内清掃、売店 ・缶ビン清掃、内職作業 ・配食サービス、昼食作り	・お菓子教室、内職作業 ・余暇活動(カラオケ)、売店
	木	・朝のミーティング(体調報告)、 内職作業、売店 ・配食サービス、昼食作り、 ・生活支援センター清掃	・内職作業、音楽活動、売店
	金	・朝のミーティング(体調報告)、 内職作業、売店 ・配食サービス、昼食作り、 区役所販売	・厨房清掃、パソコン教室 ・内職作業、グループミーティング ・売店
	(土)	・地域バザー参加、配食サービス	・地域バザー参加、配食サービス

事業所名：ハウス陽だまり

1. 事業実施日数 年間242日

2. 事業内容

*憩いを中心とした居場所作り、仲間作りの場を提供し、メンバー同士がコミュニケーションを取れるようなレクリエーションやイベントを企画、開催した。また、過ごしやすい環境作り、プログラムの効率化、ゆっくり休めるスペースの確保等を目的として新たに分室を開設した。

*生活訓練として室内やトイレ等の清掃、洗い物や洗濯等を行い、自立に向けた支援を行った。

*生産活動の機会提供として、陽だまり焼きの作成、店頭や区役所、老人ホームでの販売を行った。また、自主製品として水彩画ポストカード作りを行い、製品製作の楽しさを体験。自分の携わった製品が売れる事の喜びや自信に繋がった。また、地域のバザーに参加する事により商品の制作、販売のやりがいに繋がるとともに、地域交流の機会を提供した。

*音楽プログラムに力を入れ、メンバーが協力して合唱、演奏していく事で1つの物をみんなで創り上げていく事を経験した。自主企画音楽祭の開催やイベント、フォーラムで演奏を行い、事業所内だけではなく、外部での活動を行っていく事でメンバーの経験や自信に繋がるとともに、地域交流や連携の機会、社会資源に繋がっていない当事者の方が社会資源の存在を知り、利用に繋がるきっかけとなれるよう活動した。

*音楽療法士の講師を招き音楽療法のプログラムを継続。毎週音楽療法を行う事で自己表現の機会提供を行った。

*メンバーから希望があり、29年度より詩吟教室を月1回開催。講師を招き、詩を吟じるとともに詩が作られた背景や内容を学ぶ機会となった。

【バザー、外部販売実績】

- ・H29.4.16(日)カーボン山 桜まつり
- ・H29.5.14(日)毘沙門天バザー
- ・H29.5.21(日)らくらく市
- ・H29.8.26(土)特養老人ホームひばり夏祭り
- ・H29.10.8(日)大豆戸わくわく祭り
- ・H29.10.14(土)菊名ウォータープラザ祭り
- ・H29.10.14(土)横浜市総合保健医療センター文化祭
- ・H29.11.3(金祝)YMCAバザー
- ・H29.1.11(土)岸根公園感謝DAY

【防災訓練実績】

【レクリエーション実績】

- ・H29.4.5(水)大倉山公園お花見
- ・H29.5.31(水)新横浜ラーメン博物館
- ・H29.7.12(水)見晴らし園桃守りバス旅行
- ・H29.12.6(水)箱根園バス旅行
- ・H29.12.20(水)港北区作連交流会
- ・H29.12.25(月)クリスマス会
- ・H30.3.2(金)大倉山観梅レク
- ・H30.3.27(火)三ッ池公園お花見

【主催イベント、外部演奏実績】

- ・H29.9.7 (木) 避難訓練 (火災)、消火訓練
- ・H30.3.22 (木) 避難訓練 (地震)、消火訓練

- ・H29.5.23 (火) 特養老人ホームひばり訪問演奏
- ・H29.8.27 (日) 陽だまり芸術祭【主催イベント】
- ・H29.9.2 (土) オリブの会主催セブテンバーコンサート
- ・H29.11.18 (土) 市民精神保健福祉フォーラム演奏
- ・H30.3.17 (土) 春の陽だまり音楽祭【主催イベント】

	午前	午後
月	・ミーティング ・陽だまり焼 ・菓子詰め ・内職 ・買い出し ・ニコニコ販売 (第2、4、5)	・陽だまり焼 ・内職 ・ギター (月2回) ・移動売店 ・ミーティング
火	・ミーティング ・室内清掃 ・陽だまり焼 ・内職	・陽だまり焼 ・カラオケ ・内職 ・童話の会販売 (第3) ・ミーティング
水	・ミーティング ・陽だまり焼 ・内職 ・ニコニコ販売 (第5)	・陽だまり焼 ・音楽療法 ・内職 ・ミーティング
木	・ミーティング ・陽だまり焼 ・内職 ・ニコニコ販売 (第5)	・陽だまり焼 ・水彩画教室 (月2回) ・詩吟 (月1回) ・内職 ・ミーティング
金	・ミーティング ・室内清掃 ・陽だまり焼 ・内職 ・ニコニコ販売	・陽だまり焼 ・内職 ・音楽活動 ・移動売店 (第2) ・ミーティング

事業所名：ハイム木もれ陽

基本運営 365日運営 夜間支援体制 ハイム木もれ陽 なし / ハイム陽気 あり
 利用定員数20名 (ハイム木もれ陽 8名 サテライト1 2名 / ハイム陽気 10名)
 現、入居者20名 入居2名 退居2名

【その他特記事項】ハイム木もれ陽・ハイム陽気 サービス管理責任者 7月6日変更

【直接支援実績】

利用者一人ひとりの希望や症状をふまえ、金銭管理・服薬管理・通院同行・買物同行・居室清掃支援等を実施した。

*利用者の生活的自立に向けて、施設内共有部分の清掃や夕食メニュー作り・夕食買い出し・夕食準備・夕食片付け・ゴミ出し等を利用者と話し合い当番制でおこなった。

*月1回の利用者ミーティングを通じて、利用者からの意見を取り入れ、新たなルールの設定、既存ルールの再確認を実施。事前に相談があった内容を元に、利用者ミーティングでの提案等を促し、自主性・自立性・協調性を身に付ける支援を行った。

*利用者の希望により、レクリエーション活動を行った。

*生活上のスケジュール、携帯電話やスマートフォンの使用方法、頓服の服薬方法等の把握が難しい利用者に対して、内容をシンプルにまとめた図や書面を作成し、本人が適切な対応ができるよう支援した。

*糖尿病により食事制限がある利用者の食事については、医師・管理栄養士と連携し、メニューや味付けに配慮を行った。また嚥下困難・食事中の咳き込み等がある利用者に対しては必要に応じて、食材にとろみをつける・食事中の見守り・声掛け等の支援を行った。

*サテライト施設の利用者に対し、関係機関と連携し、一人暮らしに向けての準備支援を行い、単身生活への移行を実現した。

*就労を開始した利用者に対し、計画相談・就労移行支援事業所等と連携し、体調面の見守り・相談対応等の支援を行って、勤務継続の支援を行った。

*体調を崩した利用者や入院した利用者に対し、関係機関との連携、新しいサービスの導入、病状に即した医療機関の情報提供・連携、グループホームの環境調整や支援内容の調整を行い、利用者の意向に沿った地域生活を継続できるよう支援を行った。

【間接支援実績】

*職員ミーティングや連絡ノートを活用し、利用者の状態・支援内容の共有、支援方法の統一を行った。また職員間での意見交換をすることで、業務内容や業務実施方法の確認・改善等を行った。またハイム陽気では服薬に関する引継ぎ専用のノートを作成し、利用者の服薬状況に関する情報を参照しやすくすることで業務の効率化に努めた。

*利用者支援に資する為、研修へと参加し、職員の支援スキルの向上を図った。

横浜市精神障害者地域生活支援連合会・港北区自立支援協議会の部会へと出席し、利用者支援に資する情報を収集すると同時に、事例検討への事例の提供等を行うことで、地域福祉の向上に努めた。

【防災・避難訓練 (ハイム陽気)】

目的：災害時の避難や火災時の避難方法及びその予防として、
 避難経路や災害備蓄品の確認、初期消火、通報等の訓練を行う

日付：平成29年5月1日 (月曜日)

時間：13：30～14：30

場所：ハイム陽気共有スペース→大豆戸小学校

参加：利用者9名、職員2名

【防災・避難訓練 (ハイム木もれ陽)】

目的：災害時の避難や火災時の避難方法及びその予防として、
 避難経路や災害備蓄品の確認、初期消火、通報等の訓練を行う

日付：平成29年5月4日 (木曜日)

時間：15：00～16：00

場所：ハイム木もれ陽共有スペース→菊名小学校

参加：利用者8名、職員3名

【防災・避難訓練 (ハイム陽気)】

目的：夜間に火災あるいは災害が発生した事を想定して、避難経路や
 災害備蓄品・消火器及び火災報知機の使用確認、通報等の訓練を行う

日付：平成29年12月24日 (日曜日)

時間：13：00～14：15

場所：ハイム陽気共有スペース→大豆戸小学校

参加：利用者8名、職員2名

【防災・避難訓練 (ハイム木もれ陽)】

目的：夜間に火災あるいは災害が発生した事を想定して、避難経路や
災害備蓄品・消火器及び火災報知機の使用確認、通報等の訓練を行う

日付：平成29年12月24日（日曜日）

時間：14：00～15：30

参加：利用者6名、職員3名

【その他の報告】

【レクリエーション】

- 平成29年11月26日 外食レク すたみな太郎（ハイム木もれ陽）
- 平成29年12月24日 クリスマス&誕生日会（ハイム陽気）
- 平成30年2月25日 外食レク サイゼリヤ（ハイム木もれ陽）

【その他】

- 平成29年4月26日 害虫駆除施工（ハイム陽気）
- 平成29年5月24日 害虫駆除施工（ハイム木もれ陽）
- 平成29年6月16日 消防用設備等点検（ハイム木もれ陽）
- 平成29年6月16日 消防用設備等点検（ハイム陽気）
- 平成29年6月21日 害虫駆除施工（ハイム陽気）
- 平成29年7月19日 害虫駆除施工（ハイム木もれ陽）
- 平成29年8月18日 害虫駆除施工（ハイム陽気）
- 平成29年9月13日 害虫駆除施工（ハイム木もれ陽）
- 平成29年10月16日 害虫駆除施工（ハイム陽気）
- 平成29年11月8日 害虫駆除施工（ハイム木もれ陽）
- 平成29年12月6日 害虫駆除施工（ハイム陽気）
- 平成28年12月7日 消防用設備等点検（ハイム木もれ陽）
- 平成29年12月7日 消防用設備等点検（ハイム陽気）
- 平成30年1月5日 害虫駆除施工（ハイム木もれ陽）
- 平成30年1月31日 害虫駆除施工（ハイム陽気）
- 平成30年2月28日 害虫駆除施工（ハイム木もれ陽）
- 平成30年3月28日 害虫駆除施工（ハイム陽気）

事業所名：ハイム陽春

基本運営 365日運営 夜間支援体制 ハイム陽春第一 あり / ハイム陽春第二 なし

利用定員数14名（ハイム陽春第一 7名 / ハイム陽春第二 7名）

現、入居者13名 入居6名 退居4名

【その他特記事項】管理者 7月16日変更

2月26日 苦情対応実施

《苦情内容》

近隣住民と思われる匿名の男性から、横浜市健康福祉局障害支援課を介して苦情の連絡を受ける。

約1ヶ月前、男性の娘が歩行中に相手から唾を吐かれて訳の分からない事を言われた。後を追ったらその相手がハイム陽春に入っていたので入居者だとわかった。

《改善結果》

臨時で利用者ミーティングを開催、迷惑行為を地域住民としてどう捉えるのか、迷惑行為のうちにどのような事を招くのかを利用者一人ひとりから意見を聴き、今後同様の事を繰り返す事がないよう、ルールやマナーの履行について共有した。

- ① 日中活動先へ毎日通う事が困難な利用者に対し、日中支援を通して利用者の意欲向上、体調の安定化、望ましい生活習慣の獲得等を目指した支援を実施した。
- ② 食事提供に際し、利用者の状況に応じて刻み食や野菜食、カロリー制限による提供量の調整等の支援を行った。
- ③ 入院中の利用者に対し、週に1回病院へ訪問し、利用者への相談支援や病院との連絡調整を行った。
- ④ 利用者のニーズに基づき、金銭管理・服薬管理・通院同行・居室清掃等のサポートを行なうと共に、一人で行うことが出来るよう日常生活上の便宜を図った。
- ⑤ 日中活動先が決まっていない利用者に対して、日中活動先の紹介や連絡調整、見学同行等利用に向けたサポートを行った。
- ⑥ 一人暮らしのため退去した利用者に対し、退去後、新居に訪問し新しい生活を円滑に行えるよう相談援助を行った。
- ⑦ 新しく入居した利用者に対し、グループホームでの生活や地域生活に困らないよう見守りや声掛け、情報提供などの支援を行った。
- ⑧ 法人のケースカンファレンスに於いて、支援内容や今後の支援について、他事業所の職員と情報共有を行ない、視野を広げて支援にあたるよう努めた。
- ⑨ 外部研修・会議等を通じて、専門知識等を深めるとともに、精神保健福祉に関連する最新情報の収集及びネットワーク構築に努めた。
- ⑩ 計画相談事業所や行政機関や医療機関等と利用者が安定して地域生活を継続していくための連携や情報共有を行った。
- ⑪ 新人職員への業務や仕事に対する姿勢や支援方法等の指導や助言を行い 職場定着に繋げた。
- ⑫ 日勤、夜勤共に、定期的に職員ミーティングを実施し、入居者の体調・生活状況・支援方法などの情報共有を行った。

防災避難訓練報告

活動場所 ハイム陽春一城郷中学校

目的 ・震度5強の地震発生及び火災発生を想定し、発生中及び発生後の行動についての確認、通報や初期消火のデモンストレーションをおこない、防災意識を高める。

・避難経路及び避難場所の確認を行ない、避難時に携帯する必要性のある物を認識する。

実施日 平成29年9月13日（水） 参加人数 17名（職員含む） / 平成30年3月13日（火） 参加人数 16名（職員含む）

【その他の報告】

- 平成29年 4月 9日 小机城址まつり（地域参加活動）
- 平成29年 5月22日 害虫駆除

- ・平成 29 年 5 月 25 日 消防用設備等点検
- ・平成 29 年 6 月 14 日 外食 (近隣の焼肉店)
- ・平成 29 年 7 月 28 日 納涼祭 (地域参加活動)
- ・平成 29 年 7 月 31 日 害虫駆除
- ・平成 29 年 9 月 25 日 害虫駆除
- ・平成 29 年 10 月 10 日 建物・建築設備定期調査
- ・平成 29 年 11 月 27 日 害虫駆除
- ・平成 29 年 11 月 29 日 消防用設備等点検
- ・平成 29 年 12 月 12 日 外食 (近隣の焼肉店)
- ・平成 29 年 12 月 24 日 大掃除
- ・平成 29 年 12 月 24 日 クリスマス会
- ・年末年始 年越しそば、おせちの提供
- ・平成 30 年 1 月 22 日 害虫駆除
- ・毎月 職員ミーティング・利用者ミーティング
- ・該当月 誕生月の利用者へ対し誕生日会を実施

事業所名：ハイムあさ陽

基本運営 365日運営 夜間支援体制 ハイムあさ陽第一 あり / ハイムあさ陽第二 あり

利用定員数14名 (ハイムあさ陽第一 8名 / ハイムあさ陽第二 6名)

現、入居者14名 入居5名 退居5名

【具体的な支援内容】

- ① 利用者の生活的自立に向けて、これまでの夕食準備加え、共有スペースのトイレ掃除を利用者と話し合い当番制で行った。
- ② 利用者の健康増進のため、衛生面及び食事の量や質に配慮したメニューを提供した。
- ③ 年三回の個別支援計画 (モニタリング) に基づき、日中支援、夜間支援、食事 (朝食、夕食) 提供を行った。また利用者の状況に応じて、起床支援、服薬管理、金銭管理、居室清掃支援、通院同行などを行った。
- ④ 利用者が入院した際には定期的に病院を訪問し、利用者や主治医などと面談を行い、退院後のグループホームでの生活が円滑に行われるように調整した。
- ⑤ 利用者の1人暮らしへ向けてサテライト型住居への移転を行った。
(平成29年度実績1名)
- ⑥ 1人暮らしを希望する利用者に対して、行政、計画相談などと連携し、スムーズに1人暮らしへと移行出来る様に調整した。
(平成29年度実績2名)
- ⑦ 利用者の希望により、レクリエーション活動として外食レクを行った。
- ⑧ 必要に応じて随時職員会議を行い、利用者の状況等の情報共有を行った。

【防災避難訓練】

目的：災害発生時及び災害発生時の避難方法を知る

日付：平成29年12月13日 (水曜日)

時間：17:00~17:45

場所：ハイムあさ陽共有スペース1階→下末吉小学校

参加：利用者13名、職員3名

【防災避難訓練】

目的：鶴見川決壊時、地震発生時の避難対応及び火災発生時の対応及び初期消火を知る。

日付：平成30年3月29日 (木曜日)

時間：16:30~17:00

場所：ハイムあさ陽共有スペース→下末吉小学校

参加：利用者12名、職員3名

【レクリエーション】

- ・平成29年12月13日 忘年会

【その他】

- ・平成29年9月 職員健康診断
- ・平成29年5月8日 害虫駆除点検
- ・平成29年6月7日 消防用設備等点検
- ・平成29年6月21日 害虫駆除点検
- ・平成29年8月21日 害虫駆除点検
- ・平成29年10月13日 害虫駆除点検
- ・平成29年12月6日 害虫駆除点検
- ・平成28年12月21日 消防用設備等点検
- ・年末年始 年越しそば、正月料理の提供
- ・平成30年1月31日 害虫駆除点検
- ・平成30年3月28日 害虫駆除点検

事業所名：横浜精神保健福祉士事務所

基本運営：月・火・水・木・金 11:00~14:30 (日月祝日休み)

利用者数：44名

実績数：219件 (サービス等利用計画(案) 45件 モニタリング報告書 174件)

【主な活動報告】

- ・H29年12月1日より事業所を移転、完全個室の面談スペースを設け、個別相談の受付や支援会議等を開催する環境が向上した。

- ・支援ソフト、会計ソフトを有効活用し、業務効率化を図った。
- ・利用者が円滑にサービス利用、更新が出来るよう、区役所やサービス提供事業所との連絡調整及びプランの作成をおこなった。
- ・世帯に問題を抱える利用者に対し、その家族及び家族の支援者と連携して課題解決へ取り組んだ。
- ・個別ケースを通して関係機関との信頼関係が構築され、他法人の事業所や区役所等からの紹介が増加、柔軟に対応するよう努めた。
- ・自立支援協議会へ参加して支援員としてのスキルアップ、地域課題の抽出等ソーシャルワーク活動へ携わった。

公益事業

実施していない

収益事業

実施していない